

2022年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：詳細環境調査

調査媒体：水質（ng/L）

地方公共団体：熊本県

調査地点：大靱川第二大靱橋（八代市）

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1		
[2] アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩類（アルキル基の炭素数が12、14又は16のもの）	13	※※1.6	※※1.6
[2-1] ドデシル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩類	6.7	0.72	0.72
[2-2] テトラデシル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩類	4.6	0.47	0.47
[2-3] ヘキサデシル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩類	1.4	0.41	0.41
[3] ジ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステル及びその塩類	---	---	0.56
[4] <i>N,N</i> -ジメチルアルカン-1-アミン=オキシド類（アルキル基の炭素数が10、12、14、16又は18で、直鎖型のもの）	270	※※48	※※48
[4-1] <i>N,N</i> -ジメチルデカン-1-アミン=オキシド	15	6.4	6.4
[4-2] <i>N,N</i> -ジメチルドデカン-1-アミン=オキシド	230	26	26
[4-3] <i>N,N</i> -ジメチルテトラデカン-1-アミン=オキシド	23	11	11
[4-4] <i>N,N</i> -ジメチルヘキサデカン-1-アミン=オキシド	1.2	0.58	0.58
[4-5] <i>N,N</i> -ジメチルオクタデカン-1-アミン=オキシド	nd	4.3	4.3

(注1) nd：不検出

(注2) ---：欠測等

(注3) ※※：検出下限値は対象物質ごとの検出下限値の合計値とした。